

令和2年度 学会発表一覧

	発表学会等	開催日時	演題	要旨	発表者（※：筆頭演者）
1	第4回海中海底工学フォーラム・ZERO(オンライン)	2020年10月16日	ダイビングしながら超音波診断？ ～ジンベエザメの繁殖生態解明を目指す～	ジンベエザメの健康管理技術を野生個体の調査にも範囲を広げ適用し、本種の繁殖生態の解明に取り組んでいる。	※ <b>松本 理雄</b>
2	2020年度日本魚類学会年会(ウェブ大会)	2020年10月31日～11月1日	無人潜水艇ROVによって沖縄島近海から得られたイソハゼ属の1未記載種	無人潜水艇ROVによって沖縄島近海の水深60-84mから採集されたイソハゼ属魚類が、既知の同属121種とは異なる形態的特徴をもつことが明らかになった。	※ <b>花原 望・喜地拓生・山城 眞</b>
3	日本爬虫両棲類学会第59回大会(ウェブ大会)	2020年12月12日～13日	宮古島におけるミヤコトカゲの生息状況と潮間帯利用	保全対象種であるミヤコトカゲの生息実態調査と潮間帯利用状況を明らかにした。	※ <b>笹井隆愛</b> ・山本拓海・安里 陸・宮崎真結・戸田 守
4	勇魚会2020年シンポジウム(ウェブ大会)	2020年12月19日	日本国内におけるザトウクジラ( <i>Megaptera novaeangliae</i> )の海域間交流に関する自動照合システムを用いた研究	本研究では、北海道、小笠原、奄美、沖縄で収集されたザトウクジラの尾びれ写真および尾びれ自動照合システムを用いて、本種の海域間交流について調査した。結果、国内の交流頻度は海域間で異なる事が示唆された。今後、更に詳細な分析を実施する。	※ <b>小林希聖</b> ・近藤理美・辻井浩希・興 克樹・日田雅美・吉川隆士・ <b>龍崎廣隆</b> ・小川竜太・李 天錫・ <b>喜 直人</b> ・岡本亮介・ <b>内田隆三</b> ・三谷唯子
5	令和2年度(公社)日本動物園水族館協会 九州・沖縄ブロック飼育技術者研究会(オンライン)	2021年1月13日	飼育下におけるシマツノコシオリエビの初期発生	飼育下におけるシマツノコシオリエビの初期発生において、脱皮期間の水温による影響が示唆された。	※ <b>中島温香</b> ・ <b>浜谷怜花</b> ・ <b>喜地拓生</b>
6	令和2年度(公社)日本動物園水族館協会 九州・沖縄ブロック飼育技術者研究会(オンライン)	2021年1月13日	行動変容法を用いた飼育ユメゴンドウによる攻撃行動の抑制の一例	行動変容法を用いて、飼育下ユメゴンドウの攻撃行動の抑制に成功した。	※ <b>瀧戸沙也加</b> ・ <b>比嘉 京</b> ・ <b>河津 勲</b>
7	第2回 動物園水族館大学シンポジウム「保全の彼方と動物園・水族館の未来」(オンライン)	2021年3月4日～5日	イルカを研究する必要性	水族館におけるイルカ類の飼育研究の必要性について、沖縄美ら海水族館で行っている研究事例を紹介しながら講演した。	※ <b>河津 勲</b>
8	第68回大会 日本生態学会(ウェブ大会)	2021年3月17日～21日	胃内容物と安定同位体比分析を用いた2種の胎生ウミヘビ類の食性評価	胎生ウミヘビ類の胃内容物調査と安定同位体分析により、食い分けを行っている2種の食性を評価した。	※藤島幹汰・西澤秀明・目戸綾乃・ <b>笹井隆愛</b> ・日比野友亮